

# 千名をこえる参加者で成功 大演説会も確信に、北関東 ブロックで二議席も!

しんぶん赤旗読者ニュース

09年4月2日 木曜日 第20号  
発行 日本共産党埼玉北部地区委員会



市田忠義党書記局長を迎えて開いた演説会＝29日、熊谷会館大ホール（写真上）手を振ってこたえる、（左から）あやべ澄子北関東ブロック国政対策委員長、市田忠義書記局長、塩川てつや衆議院議員（写真左）

三月二十九日（日）に市田忠義党書記局長を迎えて開かれた大演説会は、千五百五十七名（北部地区八百二名）を確認し、バス十一台で、千名を超える参加者で成功することができました。赤旗読者の皆様をはじめ、関係者の皆様のご協力に心から敬意を表します。党主催の演説会としては、一九七四年に、同じ会場で、参院選挙勝利をめざし、不破哲三書記局長（当時）を迎えて、開催した以来の規模となりました。当日、会場での募金も三十四万四千五百六円ものご協力をいただき、感想もたくさん寄せられました。激動と転機を迎えている情勢と日本共産党の果たしている役割に確信を持って、この四月、秩父市議補欠選挙での勝利とともに、宣伝、対話・党勢拡大で大攻勢をかけていく決意です。

## 多くの方々に感想を寄せていただきました。一部を紹介します。

- 昨年八月二十六日（土）の秩父市での市田書記長の演説会に参加以来、今日が二度目です。ジョークをまぜた書記長の上手なわかりやすい話し方に改めて感動しました。今現在、最低限の生活をしている時、改めて日本共産党さんに、先頭に立って頑張っで貰いたい。自分も意見をはっきり述べるよう、伝えられる様に頑張りたい。本日は、ありがとうございます。
- 共産党の存在価値の重要さがよくわかる話だった。又、自・民の政治がよくならないこともよくわかった。政治の中身をかえるには共産党を大きくする以外に道はないこともストンと胸におちた。党の前進から飛躍のために全力でがんばりたい。
- ①雇用、②社会保障、③中小企業、④農業、非常にわかりやすく「そのとおり」との思いでできました。共産党の頑張りに、期待する声、大きくなっています。わかりやすい話が、国民一人一人に広がってきているようです。頑張ってください。



### 共産党に世話になったから、がんばりたいと決意

#### 熊谷 籠原支部とたちばな支部

上尾の自動車関連企業で、昨年派遣切りにあい、暮れに一ヶ月も野宿していた四十代の男性が、党議員の献身的な世話を受けて、演説会場で入党を決意しました。この男性は、上尾の党市議が、生活の面倒を見ていた方で、二月に熊谷市内の「住宅」に入れることになり、党市議が布団など生活用品をトラックで運んで用意しました。

その時、本人は手持ちのお金が七百円しかなく、上尾から熊谷まで夜中歩いて、たどり着いたとのこと。その後、熊谷の林市議が引き継いで、男性は生活保護を受給し、現在は雇用保険をもらって求職活動をしています。

もう一人は、五十代の男性が、事前に預かった入党申し込み書に書いてに演説会場で入党されました。（たちばな支部）